

グローバル・ベスト・ ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：グベスト

2023年3月11日から2023年9月11日まで

第 **34** 期 決算日：2023年9月11日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して積極的に運用を行うことを基本とします。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	18,838円
純資産総額(期末)	14,123百万円
騰落率(当期)	+19.7%
分配金合計(当期)	800円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

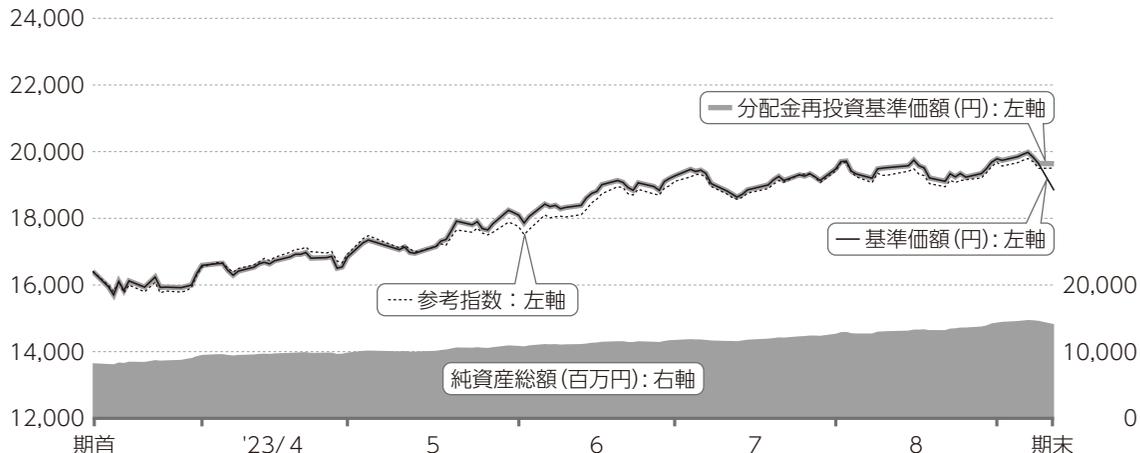
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2023年3月11日から2023年9月11日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	16,407円
期末	18,838円 (既払分配金800円(税引前))
騰落率	+19.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資を行いました。

上昇要因

- 米国の利上げペースの減速などにより、グローバル株式市場が上昇したこと
- 米ドル高・円安となったこと

下落要因

- 米国の利上げの再開に対する警戒感などにより、グローバル株式市場が下落する局面があったこと

1万口当たりの費用明細(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	176円	0.967%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は18,153円です。
(投信会社)	(85)	(0.467)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(85)	(0.467)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(4)	(0.021)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	3	0.019	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.018)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	31	0.169	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(29)	(0.162)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	214	1.177	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

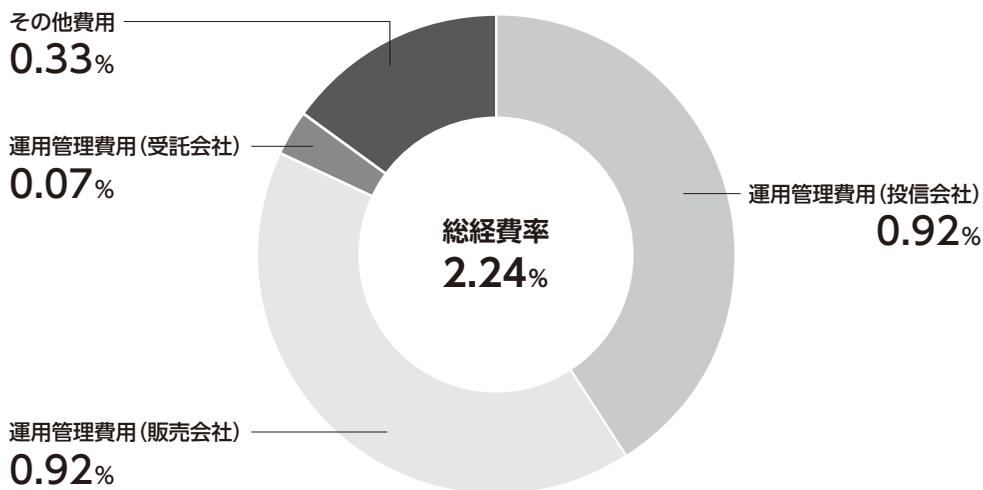
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.24%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年9月10日から2023年9月11日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年9月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018.9.10 決算日	2019.9.10 決算日	2020.9.10 決算日	2021.9.10 決算日	2022.9.12 決算日	2023.9.11 決算日
基準価額 (円)	11,687	11,566	14,538	18,849	17,421	18,838
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	1,150	1,350	150	800
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-1.0	35.6	39.6	-6.8	12.7
参考指数騰落率 (%)	-	0.9	10.8	36.5	12.0	14.6
純資産総額 (百万円)	3,109	2,731	3,868	6,653	6,388	14,123

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場は対円で上昇しました。

グローバル株式市場

期初は米国での銀行破綻に欧州での大手金融機関の経営不安の報道が重なったことで金融不安が広がりました。しかし、各国金融当局が不安解消に向け、対応策を迅速に打ち出したことから、市場は変動性を伴いながらも反転上昇しました。また、テクノロジー関連銘柄は、AI技術に関わる成長期待から、総じて株価は堅調でした。

7月下旬のFOMC(米連邦公開市場委員会)における利上げ再開を経て当面の利上げ打ち止め期待がやや後退する中、格付け会社による米国債の格下げなどをきっかけとして長期金利(10年国債利回り)が上昇すると株式市場は下落しました。また、中国の不動産大手のデフォルト(債務不履行)観測も投資家心理の圧迫要因となりました。

期を通じてみると、グローバル株式市場は上昇しました。

為替市場

期末のドル円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。米国の利上げ再開や長期金利の上昇と日本の金融政策に大きな変化がないことから、米ドル高・円安が加速しました。

ポートフォリオについて (2023年3月11日から2023年9月11日まで)

当ファンド

主要投資対象である「グローバル・ベスト・マザーファンド」を期間を通じて高位に組み入れました。

グローバル・ベスト・マザーファンド

期間における主な売買は以下の通りです。

購入：コルゲート・パルモリーブ

米国の消費財メーカー。広告費の引き上げによるブランド力の回復が売上回復に寄与する見込みです。さらに値上げにより、原材料費上昇の吸収とサプライチェーン(供給網)の問題解決に寄与する為、マージンの回復も見込めることを評価しています。

購入：アドビ

ジェネレーティブAIに関連した新製品が新たな成長源になると評価しています。

購入：ダナハー

米国の医療関連専門器具メーカー。試験、

計測、環境、生命科学、歯科、工業技術などの分野で使用する専門・医療・商工業用器具を設計・製造・販売しています。足元ではバイオ製薬業界のコストカットの影響を受けていますが、長期的には成長軌道に回帰すると評価しています。

売却：バンク・オブ・アメリカ

米国のマネーセンターバンク。資産と負債の金利ミスマッチにより金利マージン悪化がさらに続くことを懸念して売却しました。

売却：バーリントン・ストアーズ

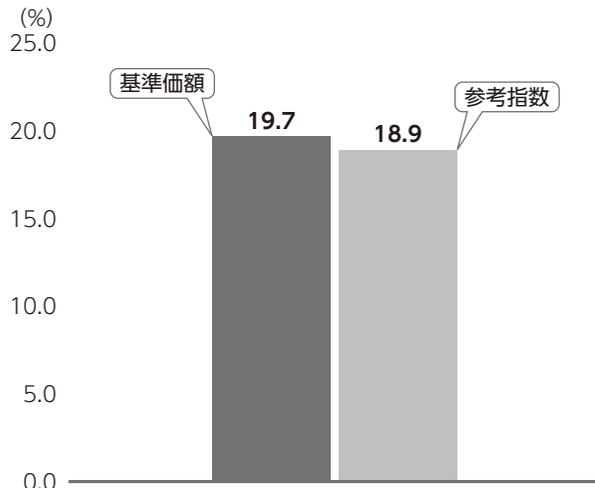
米国の衣料小売店。実店舗とインターネットサイトを通じて衣料品を提供しています。対象顧客層の実質所得の目減りが影響する可能性を考慮してウェイトを引下げました。

売却：GEヘルスケア

米国の医療機器メーカー。株価が上昇するなかでバリュエーション(投資価値評価)が高いと判断し利益確定しました。

ベンチマークとの差異について(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第34期
当期分配金	800
(対基準価額比率)	(4.07%)
当期の収益	800
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,838

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「グローバル・ベスト・マザーファンド」への投資を通じて、主として世界の株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行うことを基本とします。

グローバル・ベスト・マザーファンド

市場はソフトランディング(軟着陸)を期待して株価もバリュエーションも上昇しましたが、引き続きインフレ率はF R B(米連邦準備制度理事会)の目標を上回っており、労働需給はタイトな状況にあり、先行きに不透明感があると考えております。

こうした状況下のなかで、株価の上昇に追随できる一方で外部環境によるショックに対しての耐性を持たせることでバランスしたポートフォリオの維持をバリュエーションに配慮しながら目指してまいります。

また個別銘柄、サブセクターレベルではA I、新薬開発、製造業のニアショアリングなど様々な景気とは関係の薄い動向からリターンを獲得することが可能と考えております。

3 お知らせ

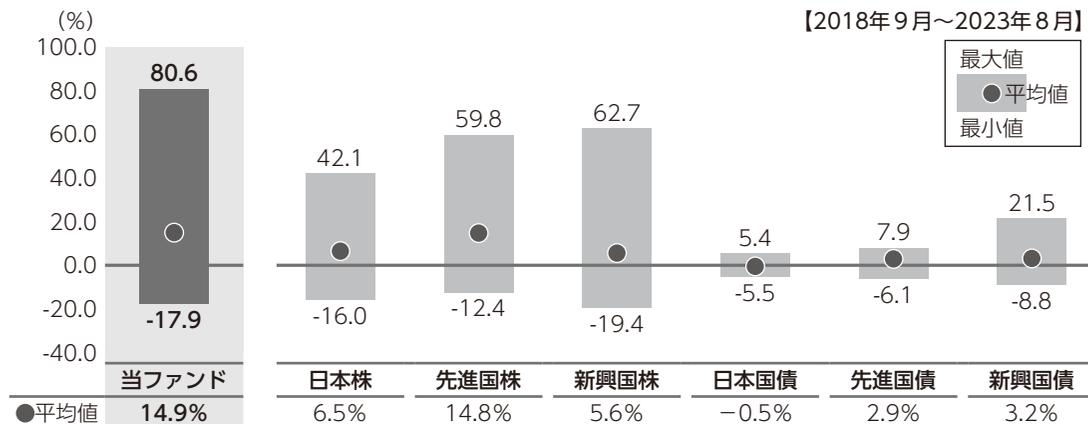
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2006年9月14日から2026年9月10日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して積極的に運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバル・ベスト・マザーファンド 世界の株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■グローバル・ベスト・マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資し、“ワールドワイド”に投資機会を追求します。 ■ファンダメンタルズ・リサーチを重視したボトムアップ・アプローチにより、魅力的な成長が期待される銘柄に厳選投資します。 ■実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限をティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクへ委託します。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 <p>グローバル・ベスト・マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年3月および9月の10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデュシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

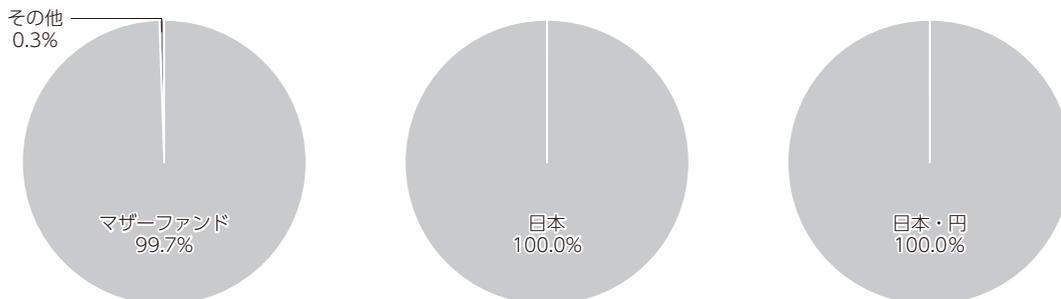
当ファンドの組入資産の内容(2023年9月11日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
グローバル・ベスト・マザーファンド	99.7%
コールローン等、その他	0.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第34期末 2023年9月11日
純資産総額	(円)	14,123,635,088
受益権総口数	(口)	7,497,281,156
1万口当たり基準価額	(円)	18,838

※当期における、追加設定元本額は3,000,989,058円、
解約元本額は557,047,754円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・ベスト・マザーファンド(2023年3月11日から2023年9月11日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	内訳	金額	内訳
売買委託手数料	(株式)	10	(10)
	(投資信託証券)		(0)
有価証券取引税	(株式)	9	(8)
	(投資信託証券)		(0)
その他費用	(保管費用)	77	(76)
	(その他)		(0)
合計		96	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

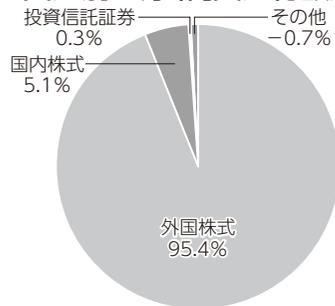
(基準日：2023年9月11日)

銘柄名	業種	組入比率
1 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	6.1%
2 ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.1%
3 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	4.2%
4 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.9%
5 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	3.7%
6 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	金融サービス	2.9%
7 第一三共	医薬品	2.4%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	2.3%
9 EXXON MOBIL CORP	エネルギー	2.2%
10 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	2.2%
全銘柄数	78銘柄	

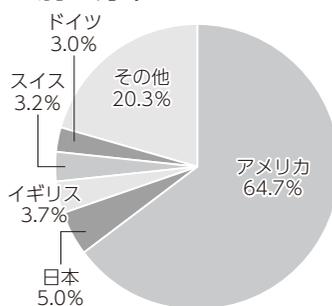
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

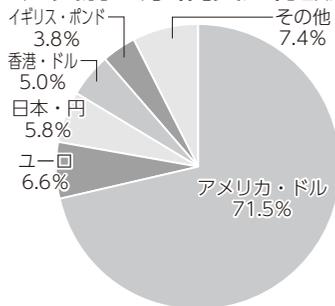
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年9月11日現在です。